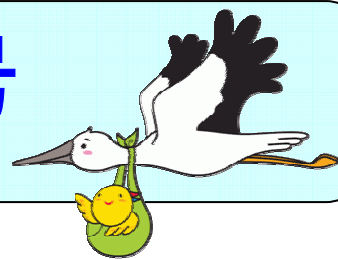


# 子ども未来通信 4月号

[http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08\\_00000002.html](http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08_00000002.html)



## 子育て3ひろば交流会 2009 を開催 (3月9日)



県と県青少年本部は、地域ぐるみの子育て支援をめざして展開している3つのひろば事業(まちの子育てひろば・子どもの冒険ひろば・若者ゆうゆう広場)の活動状況の紹介や今後の連携等について意見交換を行う「子育て3ひろば交流会2009」を開催し、約110名が参加しました。井戸知事は、各ひろばの活躍への感謝とともに、「互いに情報を共有して、一緒に取り組んでいきましょう」と挨拶。その後、各ひろばの代表者6人でパネルディスカッションが行われ、「活動を支えるスタッフやボランティアを育成する工夫が必要」「子どもが外で遊ばない環境をどう変えるかが大切」などの意見が交わされました。

(問)県少子対策課 078-362-4185

## 第2回子ども未来プラン推進協議会を開催 (3月26日)

県は、少子対策を総合的に推進するため、福祉、教育、保健・医療、子育て支援、労使など関係団体の代表等27名で構成する、兵庫県子ども未来プラン推進協議会を3月26日に県公館で開催。委員からは、「地域は子どもの教育の原点であり、行政だけでなく地域の一人一人にも責任がある」「学童期の子どもの居場所で心や発達のひずみをカバーできるような体制づくりに力を注ぐべき」「若者の結婚支援では、自然な出会いの場をもっと増やす必要がある」など活発な意見が交わされました。



(問)県少子対策課 078-362-4183

## 「子育て応援協定」締結企業、418社8団体に (3月26日)

子どもを安心して生み育てられる環境づくりに向け、県は子育て応援に積極的に取り組む企業等115社と新たに「子育て応援協定」を締結。県公館で開催した協定締結式では、事業者を代表して、(株)パスコ神戸支店と兵庫ヤクルト販売(株)から、取り組み事例の報告と今後一層の推進に向けての決意が語られました。この度で、県が協定を締結した企業等は418社8団体となりました。



(問)県少子対策課 078-362-4184

## 県健康福祉部に「こども局」を設置 (4月1日)

「ひょうご子ども未来プラン」に基づく総合的な少子対策の推進を図るとともに、子どもを安心して生み育てるための子育て支援施策、「安心こども基金」を活用した保育環境の整備、こども家庭センターと連携した児童虐待事案への迅速な対応などを一体的かつ機動的に推進するため、21年度から、県健康福祉部に「こども局」が設置されます。こども局は、少子対策課と児童課で組織されるとともに、全庁で構成する県少子対策本部(本部長:知事)の事務局を担います。

### 保育所型認定こども園が県内初の幼保連携型へ移行（3月3日）

保育所型認定こども園「まあや保育園」（たつの市）が、幼保連携型認定こども園として再スタートすることになり、認定書が交付されました。保育所が幼稚園の認可を新たに取得して、幼保連携型に移行するケースは県内初めてです。認定書を受け取った堀尚勝園長は、「長年の夢が叶い、身の引き締まる思い。今後も、地域の子どものために頑張っていく」と決意を述べました。県内では、4月1日付で、認定こども園が19施設になりました。

（問）県児童課 078-362-3199



### 兵庫ジュニア技能グランプリを開催（3月21、22日）



県と県技能士会連合会は、技能の日本一を競う「全国技能グランプリ・兵庫」の開催に合わせて、ジュニア世代にも技能への関心をより一層高めてもらうとともに、技術力を次世代につなぐことを目的とした「兵庫ジュニア技能グランプリ」を神戸市内で開催。当日は、全国から59名の小学生（4年生以上）と中学生が参加し、パネル塗装や竹垣、ハンコ、ミニ屏風の製作などの技を競いました。子どもたちは、自分一人で作品を作りあげる喜びや、ものづくりの楽しさを実感することができ、指導

にあたった熟練技能者からも出来栄が高く評価され、最優秀者には知事賞が授与されました。

（問）県職業能力開発協会078-371-2091

### 県立こどもの館がアマチュア人形劇コンクールを開催（3月8日）

県立こどもの館は、児童の健全育成に向けた活動しているアマチュアグループによる人形劇コンクールを開催しました。県内から計9グループが参加し、こどもの館賞は「うさぎ月の三日」を演じた「人形劇団おやゆび姫」（加東市）が受賞しました。審査員は「今後とも良い作品をつくって地域での活動を広げてほしい」と激励し、参加者からは「子どもたちがもっと喜んでくれるような活動を目指していきたい」などの思いが語られました。



（問）県立こどもの館 079-267-1153

### 神戸県民局と神戸ビジョン委員会が親子で楽しめる食育体験教室を開催（3月7日）



神戸県民局は、親子の調理体験等を通じて、子どもに与えたい安全な食について考える食育体験教室を神戸市内で開催。郷土料理研究家の金丸澄子氏の指導のもと、高知県に伝わる、「碁石茶」（発酵茶）と神戸産の食材を使った茶がゆづくりを体験した後、保田茂・神戸大学農学部名誉教授からは、農薬や化学肥料を減らし、生物を育みつつ安全・安心なお米を作る農法や、ごはん食を中心とした「日本型食生活」を見直すことの大切さについての講

話がありました。参加者からは、「子どもの身体を守るため、幼いころから米・魚・豆を摂る昔ながらの食生活に慣らすよう心がけたい」といった感想が聞かれました。

（問）神戸県民局ビジョン・広報課 078-361-8624

## NPOと行政の子育て支援会議が高砂市内で交流会を開催（3月3日）

「NPOと行政の子育て支援会議」は、学童の居場所づくりと放課後児童クラブをテーマに高砂市内で交流会を開催。当日は、NPO、県市町担当職員等27名が参加。県の施策説明と高砂市で学童保育所を開設しているNPO法人高砂キッズ・スペースによる活動紹介のあと、伊保小学校の放課後児童クラブを見学。続いて、学童保育所の運営方法や障害児の受け入れなどについての意見・情報交換が行われました。当支援会議では、今後も各地で交流会を開催していきます。



(問)県少子対策課 078-362-4184 / NPO法人さんぴいす 0797-22-8896

## 第9回ひょうごキッズふれあいマラソン大会を開催（2月28日）



兵庫県児童養護連絡協議会は、県内16か所の児童福祉施設の入所児童750名の参加によるマラソン大会を県立播磨中央公園で開催。穏やかな晴天のもと、年代別のマラソンや施設対抗の駅伝が行われ、元気に力走する子どもたちに、沿道から大きな声援が送られました。競技終了後は、ボランティア団体からふるまわれた豚汁とお汁粉を味わうなど、子どもたちにとって思い出深い1日となりました。(問)県児童課 078-362-3198

## 「仕事と生活の両立」応援フォーラムin兵庫を開催（2月27日）

県は、仕事と子育ての両立ができる社会の構築に向け、企業経営者や労働者が相互に理解し合い、協働して率先行動に結びつけるためのフォーラムを尼崎市内で開催。約120名が参加し、基調講演では木谷宏・学習院大学特別客員教授が「企業が多様な働き方ができる仕組みや制度をつくるとともに、社員に十分周知し、利用するよう働きかけることが大切」と呼びかけました。続いて行われたパネルディスカッションでは、上林憲雄・神戸大学大学院教授によるコーディネートのもと、企業経営者や行政から、子育てを一人で抱え込む母親の現状の課題や、育児をしながら働くための働き方の見直し、意識改革の必要性などについて意見交換が行われました。



(問) 県しごと支援課 078-362-9183

## 子育て家庭を応援します 県民局レポート 「子育て応援メッセージ集」を作成 ～ 阪神南県民局～

阪神南県民局は少子化や虐待、家庭内暴力などに伴う家族の絆の喪失といった、一家庭が自力で解決することが困難な問題を地域ぐるみで解決していく家庭再生事業を展開するため、子育て中の世代やこれから新しく家族・家庭を持つようとしている人たちへの応援メッセージ集「家族・なかま・絆」を発行しました。内容は、昨年秋に開催した地域ぐるみの家庭のあり方を考えるフェスタのハイライトや出演者の思いや主張を集めたものです。子育て支援サークルや地域団体をはじめ、希望者に広く配布しています。



(問) 阪神南県民局県民運動課 06-6481-7641

## 団体の活動紹介

### 姫路市社会福祉協議会（姫路市） ～子育て支援事業ボランティア研修会を開催～



姫路市社会福祉協議会飾磨橋東支部（松岡泰造・支部長）は、毎月実施している子育て支援事業「しかまっ子」の企画・運営を行っているボランティアを対象とした研修会を3月11日に開催し、約90名が参加しました。同事業は、開始から2年が経過しており、回を重ねるごとに参加者も増え、現在では毎回150名以上の親子が季節行事などのイベントに参加して、相互の交流を深めています。

今回は、清原県理事兼少子対策本部事務局長が「子育てをたくさんの人間関係のなかで」と題した講演を行い、「子育てには、まわりにたくさんの人間関係づくりが大切」と呼びかけ、受講者も今後の取り組みに向けて気持ちを新たにしました。（問）姫路市社会福祉協議会 079-222-4212

### やぶ市女性未来会議（養父市） ～まちの寺子屋をスタート～

やぶ市女性未来会議（小松原貴美子・代表）は、但馬地域で初めてとなる「まちの寺子屋」を1月から毎月第4土曜日に養父市男女共同参画センターで開設しています。2月28日のイベントでは、親子約50人が、地域の高齢者らの絵本の読み聞かせや紙芝居を楽しみました。小松原代表は、「今の子育てに不安な社会状況をフォローできる場となるよう、幅広い世代に支援の輪を広げていきたい」と今後の抱負を語りました。



（問）やぶ市女性未来会議（養父市男女共同参画センター内）079-662-7765

### 西宮市瓦木地区青少年愛護協議会（西宮市） ～子どもと携帯電話を考える～

西宮市瓦木地区青少年愛護協議会は、3月15日に子どもが携帯電話を持つことの必要性について考えるセミナーを開催し、小・中学校の保護者や教師、青少年育成団体の関係者など約25名が参加しました。堺市教育委員会の浦嘉太郎・指導主事から、堺市が全中学校の1年生に行っている携帯電話を介したいじめ防止の授業とその効果について報告され、意見交換の部では、「依存傾向があることも問題」「本当に必要な機能に限定して使わせるべき」など、それぞれの立場から意見が交わされました。



（問）西宮市瓦木地区青少年愛護協会 0798-20-5608

### 子育てファミリー・サポートくらぶ「あ・そ・ぼ」（洲本市）～親と子のふれあいひろばを開催～



洲本市の子育てファミリー・サポートくらぶ「あ・そ・ぼ」（南玲子・代表）は、「まちの子育てひろば」の実施や、子育てに不安や悩みを持つ母親相談、一時保育などを行っています。3月6日には「親と子のふれあいひろば」を開催し、子どもたちや保護者など約80名が参加しました。子どもたちは、メンバーによる手遊びやエプロンシアター、絵本の読み聞かせや、お手玉、輪投げ、ボーリングなどの手づくりおもちゃで楽しいひとときを過ごしました。

（問）「あ・そ・ぼ」（代表・南玲子）0799-26-0022

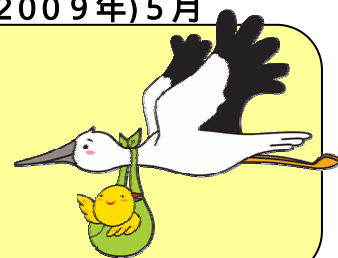
### 編集部からのお知らせ

「子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「子ども未来通信・配信希望」と記載して送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課) E-mail : [shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp](mailto:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp)

ひょうご

## 子ども未来通信 5月号

[http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08\\_000000002.html](http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08_000000002.html)

## 2009年版少子化社会白書発表(4月17日)

政府は、閣議決定を受け、「2009年版少子化社会白書」をまとめました。2005年に過去最低を記録した合計特殊出生率は、2007年に1.34まで回復したものの、「なお、楽観できない」と指摘。また、少子化に歯止めをかけるため、若者に対する就労支援の重要性を打ち出しており、企業の求めている人材を正確に把握することで雇用のミスマッチを解消すべきとも指摘。さらに、2030～35年には、95%の自治体で人口が減少するとの推計も紹介していますが、生涯未婚率10%未満、夫婦間の子どもが平均2人以上になれば、2055年の総人口は1億人を維持できるとも試算しています。

(問)県少子対策課 078-362-4232

## 新温泉町で認定こども園がスタート(4月1日)

県は、新温泉町の浜坂幼稚園と浜坂保育所を幼保連携型の「新温泉町立浜坂認定こども園」、大庭幼稚園と大庭保育所を幼保連携型の「新温泉町立大庭認定こども園」、明星保育園を保育所型の「明星認定こども園」として、4月1日付で認定し、清原・県理事兼少子対策本部事務局長から認定書を交付しました。新温泉町では初めての認定で、県内の認定こども園は19施設となりました。



(問)県児童課 078-362-3215

## 「ひょうご親学び応援学習プログラム」を作成



県では、「ひょうご家庭応援県民運動」の一環として、平成20年度から進めている「地域三世代同居」をめざす「ひょうご親学び応援事業」を拡充するため、「ひょうご親学び応援学習プログラム」を作成しました。親、祖父母世代自らが成長するための学びや親子、三世代が共に学ぶきっかけづくりとして活用できる37のプログラムを掲載し、共に学び合うための教材として、活用しやすいように実習型が中心となっています。なお、このプログラムは、県HPでダウンロードすることができます。

(http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15\_000000275.html)

(問)県男女家庭室 078-362-3169

## 内閣府の「認定こども園制度の在り方に関する検討会(第5回)」で提案(3月31日)

認定こども園の制度改革に関する検討会の第5回会合が東京都内で開催され、知事の代理として出席した吉田・県健康福祉部参事は、「国の基準は、保育に欠けない0～2歳児は恒常的に預かることを想定しておらず、制度の対象外となっている。保育に欠ける、欠けないの要件を撤廃し、全ての子どもを受け入れて、就学前児童の教育・保育の機能をさらに強化した施設を目指すべきである」と訴えるとともに、その実現に向けた具体策として、認定こども園の整備や運営に必要な事業費の改善や認定基準の緩和等を提案しました。



(問)県児童課 078-362-3215

## 新型インフルエンザの発生に伴う知事メッセージ

WHO は、メキシコ等で発生していた豚インフルエンザを新型インフルエンザと判断し、4月28日には警戒レベルを3から4に、4月30日には警戒レベルを5に引き上げました。本県では、28日に新型インフルエンザ対策本部を設置し、段階引き上げごとに知事から県民の皆様へメッセージを発信し、市町や児童関係団体にも送りました。

(主な内容)

- ・豚インフルエンザの国内での感染を防止するため、うがい、手洗い、咳エチケットの励行などを十分に行ってください。
- ・豚インフルエンザは、豚肉や豚肉の加工品を食べることによって感染するものではありません。通常の加熱による豚肉の調理により、他の細菌やウイルスと同様、豚インフルエンザウイルスは死滅します。適切に扱われ、調理された豚肉製品を食べても安全です。
- ・各健康福祉事務所・政令市保健所で相談を受け付けています。(連絡先の詳細は、県ホームページに掲載しています。http://web.pref.hyogo.lg.jp)
- ・県民の皆様には、冷静な対応をお願いします。

(問)県疾病対策室 078-362-3226

## ひょうごっ子育成・ワンコインセミナーを開催(4月16日)

県青少年本部では、青少年育成に関心のある方や子育て中の保護者などが、現代の青少年を取り巻く生活環境に対する理解を深め、子育てなどについて悩んでいることなどを話し合う機会を広げるためのセミナーを開催しています。第1回の4月16日は、「インターネット社会における青少年の健全育成を考える」をテーマに開催。参加者からは、「具体的な事例が紹介されたので、携帯電話やインターネットに潜む危険性がよく分かった」「ネットの害に加えて、それに巻き込まれない青少年のしつけのあり方について学べてよかった」など、多くの感想が聞かれました。なお、このセミナーはテーマを変えながら、今後も開催していきます。

(問)公益財団法人 兵庫県青少年本部 078-891-7410



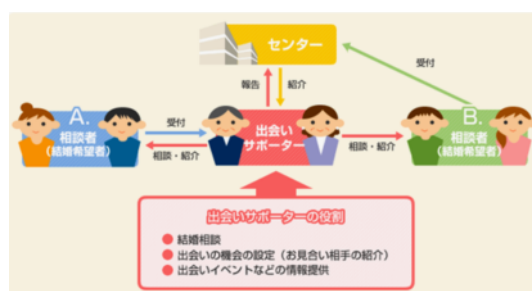
## 子どものたばこ・アルコール対策のためのDVDを作成！ 県民局レポート ～ 阪神北県民局～

阪神北県民局では、平成17年度から小学生のたばこ対策、中学生のアルコール対策として、学校での健康教育を推進してきましたが、このたび、3か年(平成17～19年度)の取り組みを踏まえ、DVD「考えてみよう たばことアルコール」を作成。青少年への啓発を高めるため、スポーツ選手からの一言メッセージを収録しています。今後、この教材を管内の小・中学校などに配布するとともに、各市町教育委員会と連携して、DVDを活用した指導者養成研修や授業を実施し、子どもたちへの健康教育の充実強化を図っていきます。

(問) 阪神北県民局宝塚健康福祉事務所 0797-62-7306

## 三木市が「みきで愛(出会い)サポートセンター」を設置

三木市では、結婚を希望しながら出会いの機会の少ない男女を応援していくため、市内の様々な団体やボランティア団体の参画のもと、平成20年11月22日(いい夫婦の日)に、「みきで愛(出会い)サポートセンター」を設立しました。このセンターは、36名の市民ボランティアである「出会いサポーター」が、結婚相談の応対やお見合い相手の紹介、出会いの場の設定などを行っています。市内在住を問わず受け付けていますのでお問い合わせください。



(問)みきで愛(出会い)サポートセンター 0794-82-8833

## イベントの案内

### こどもフェスティバルの参加者を募集（5月5日）

開館 20 周年を迎える県立こどもの館は、これまで蓄積してきた実績などを踏まえ、その成果を発信する場として、こどもの日に親子参加型の記念イベントを開催します。 主な内容：20 周年記念式典（「わたしの夢」コンクール知事表彰等） 記念講演（「こどもの心を育てる～ケータイよさらば～」/ 建築家・安藤忠雄氏） 包む・結ぶなどの伝統文化を伝える常設展示室「和のひろば」のオープン、ワークショップ（木とのふれあい・ぬくもり体験等） 多世代ふれあい交流サロン（伝承あそび、マジック等）、人形劇団の公演など 日時：5月5日（火・祝）9:30～16:30 場所：県立こどもの館



昨年度のこどもフェスティバル  
(問)県立こどもの館 079-267-1153

### すこやかな子育て・親育ち応援事業の参加者を募集（5月13日～3月24日）

県立総合衛生学院は、子どもが本来もつ生きる力を育み、親が子育てを通して成長していくプロセスを地域ぐるみで支援するため、すこやかな子育て・親育ちを応援するセミナーと、子育て中の親子や妊婦が交流できる親子ひろばを開催します。【セミナー】 日時：5月13日（水）、6月10日（水）ほか全6日 場所：神戸市立新長田勤労市民センター「和室」（ジョイプラザ4階） 定員：各20～30組 一時保育あり【親子ひろば】 日時：5月27日（水）、6月24日（水）、7月22日（水）ほか全12日 場所：大丸新長田店2階 < 締切 > セミナー・親子ひろばとも当日まで受付 先着順 (問)ジョイプラザ名店会 078-612-8400 又は県立総合衛生学院 078-733-6611

### 「人生まなび塾 2009」参加者募集（5月17日～12月6日）

次世代を担う若者たちに、コミュニケーションの場や多様な職業、匠の技などに触れる機会を提供し、青少年が自らの適性にふさわしい進路を見だしていけるよう支援する体験型プログラムを行います。 内容：工場見学、チェンソー体験、キムチづくり・植菌体験など 日時：前期5月17日～8月9日（5回）、後期8月9日～12月6日（5回） 場所：神戸市・宍粟市など 対象：15～34歳程度の県内在住の男女 定員：各20名 参加費：1,000～2,000円程度 (問)県立山の学校 0790-62-8088



昨年度のキムチづくり体験

### 神出学園が1日交流体験コースを新設（5月29日～3月5日）

不登校などを経験した子どもたちの自立を支援する県立神出学園は、昨年度、「ひょうごコース ケアネット推進事業」で実施した1日交流体験の成果を踏まえ、対象年齢を25歳まで引き上げた1日交流体験コースを新設します。5月から月1回試行実施し、10月から月3回程度実施する予定です。 内容：動物とのふれあい、ゲーム、華道、スポーツなど 対象：県内在住の15歳（中学校卒業）以上25歳以下のひきこもり状態にある男女 定員：各20名 参加費：600円程度 (問)県立神出学園 078-965-1122

### 再就職準備セミナー参加者募集（6月3日～17日）

子育てをしながら再就職を目指している女性を対象に、仕事と家庭の両立のための心構えや身につけておくべきことなどについての学習機会を提供するセミナーを開催します。 日時：6月3日（水）、10日（水）、17日（水） 場所：県立男女共同参画センター 定員：20名 参加費：無料 一時保育あり (問)県立男女共同参画センター 078-360-8550

## 新年度の市町の少子対策担当部局

21年度の市町の少子担当部局は次のとおりです。なお、尼崎市が平成21年4月17日付けで「こども青少年未来対策本部」を設置したほか、多可町においても6月に推進本部の設置を予定しているなど、少子対策推進のための体制強化が一層図られています。

地域	市町	担当部局	地域	市町	担当部局
神戸	神戸市	保健福祉局子育て支援部	中播磨	姫路市	健康福祉局子育て支援室
	阪神南	尼崎市		こども青少年局こども青少年企画課	神河町
西宮市		健康福祉局こども子育て企画・育成グループ		市川町	健康福祉課
芦屋市		保健福祉部こども課		福崎町	教育委員会学校教育課
阪神北	伊丹市	こども部こども室こども企画課	相生市	市民福祉部子育て支援室	
	宝塚市	子ども未来部子ども室子ども政策課	たつの市	健康福祉部児童福祉課	
	川西市	こども部子育て室子育て支援課	赤穂市	健康福祉部子育て健康課	
	三田市	健康福祉部福祉推進室こども課	宍粟市	健康福祉部社会福祉課	
東播磨	猪名川町	生活部福祉課	太子町	生活福祉部社会福祉課児童福祉係	
	明石市	福祉部こども室子育て支援課	上郡町	健康福祉課	
	加古川市	福祉部こども支援局こども課次世代育成支援係	佐用町	福祉課子育て支援係	
	高砂市	福祉部児童福祉課	豊岡市	教育委員会事務局こども企画課	
北播磨	稲美町	健康福祉部地域福祉課	養父市	健康福祉部福祉課	
	播磨町	福祉グループ	朝来市	朝来市教育委員会こども育成課	
	西脇市	福祉生活部児童福祉課	香美町	健康福祉部福祉課	
	三木市	市民ふれあい部子育て支援課	新温泉町	福祉課	
但馬	小野市	市民福祉部子育て支援課	徳山市	保健福祉部こども未来課	
	加西市	経営戦略室	丹波市	福祉部社会福祉課	
	加東市	福祉部子育て支援課	洲本市	健康福祉部福祉課	
	多可町	子ども課	南あわじ市	健康福祉部少子対策課	
丹波			淡路市	健康福祉部社会福祉課児童福祉係	

## 団体の活動紹介

### 高砂子育て生活応援ネットワーク タント(高砂市) ~まちの子育てひろばを10か所開催~

高砂子育て生活応援ネットワーク タント(春木ひろみ代表)は、平成15年の立ち上げ当初から高砂市内をネットワークして「まちの子育てひろば」を10か所で開催しています。また、親子体操や人形劇など親子を対象とした企画を展開し、それらの情報を掲載した「Party Party」は、21年5月号で第75号となりました。平成20年度からは、地域SNSを使った子育て情報の配信も始め、子育て家庭に向けての情報発信と子育て支援者への支援を中心に活動しています。

(問)高砂子育て生活応援ネットワーク タント 080-6148-7875



### NPO法人ぴっぴ(神戸市) ~「育ちあう、支え合う」を大切に~

NPO法人ぴっぴ(福本良江理事長)は、震災直後に理事長宅を無認可保育所として立ち上げ(平成16年3月法人格取得)、保育活動をはじめ、地域団体と協力して、こどもまつりやコンサートなどの実施、子育て相談、一時保育付パッチワーク教室の運営など、様々な事業を実施してきました。発達支援として取り組んできた「子どもと親の応援隊」(保育士アウトリーチ)は、今年度から西区の事業となり、委託を受けて実施することとなりました。これからも「育ちあう、支え合う」の気持ちを大切に、より充実した子育てと子育てへの支援に取り組んでいきます。



(問)NPO法人 ぴっぴ 078-992-1900

## 編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に原則として電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。4月から、次の組織に変更となりました。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課): E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp



ひょうご

## 子ども未来通信6月号

[http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08\\_00000002.html](http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08_00000002.html)

### ■新型インフルエンザに対する取り組み

県では、県内で新型インフルエンザの感染が確認されたことを受け、患者の治療と感染拡大防止のため、諸対策に全力をあげて取り組んでいます。こども局は、5月16日以降順次、神戸市、芦屋市など感染が確認された地域の保育所、児童館などへ休業要請をするとともに、「地域女性団体ネットワーク会議会員」、「子育て応援協定締結企業」や「NPOと行政の子育て支援会議会員」などに情報提供や協力要請をしました。5月23日以降は、地域の実情に応じた対応を行うとの政府の方針を受け、これらの要請を解除しましたが、県民の皆様におかれましても、引き続き警戒を怠らず、正確な情報に基づく冷静な対応をお願いします。

#### ●「民生委員児童委員連合会」の取り組み ～緊急呼びかけ～（5月18日）

保育所などの臨時休業により、子どもたちや要援護者だけで地域で過ごす時間が長くなる状況を踏まえ、民生委員・児童委員に対し、引き続き、子どもたちや要援護者の積極的な支援に努めていただくよう呼びかけを行いました。

#### ●「地域女性団体ネットワーク会議」の取り組み ～緊急呼びかけ～（5月18日）

保育所などの臨時休業により、子どもたちだけが家で留守番するような状況が生まれることを懸念し、構成18団体に対し、近所の様子に目を配り、特に地域の子どもの安全確保に努めていただくよう緊急呼びかけを行いました。

#### ●「県立こどもの館」の取り組み ～「外出を控えて親子のふれあい」を作成～（5月18日）

県立こどもの館は、家庭でできる親子遊びや食事・おやつづくりなどをまとめた「外出を控えて親子のふれあい」を作成し、県HPで紹介しています。

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw09\\_000000185.html#h03](http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw09_000000185.html#h03)

(問) 県少子対策課 078-362-4232

### ■県・市町少子対策協働会議を開催（5月15日）

県と市町が協働して少子対策を推進するため、次世代育成対策、児童福祉の担当者のほか、両立支援担当者も加わって、県・市町少子対策協働会議を神戸市内で開催。会議では、県から今年度に策定する新しい次世代育成支援対策の行動計画(計画年度：平成22～26年度)の策定にかかる説明や安心こども基金、あそびの伝承師など県の主要事業について紹介しました。その後、県民局別に9グループに分かれて討議を行い、各市町の特色ある事業の紹介や行動計画策定に係る情報交換など活発な意見が交わされました。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

### ■新ひょうご子ども未来プランへの意見募集

県では、平成18年3月に「ひょうご子ども未来プラン」(平成17～21年度)を策定し、総合的な少子対策を展開してきました。合計特殊出生率は2006年から上昇傾向にあり、出生数については、約5万人でほぼ横ばい状態が続いています。今後とも安心して子どもを生み、大切に育てていくことができる社会づくりを一層進めるため、今年度、現計画の改定版となる「新ひょうご子ども未来プラン」(計画期間：平成22～26年度)を策定します。このプランを多くの県民の方々と一緒につくっていくため、是非ご意見をお寄せください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/contents/000127381.pdf> (問) 県少子対策課 078-362-4183

## ■まちの子育てひろば連絡会議を開催（5月12日）

県は、子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育ての悩みを話し合ったり、情報交換等ができる「まちの子育てひろば」(1,891か所/4月末現在)の開設を推進し、地域ぐるみの子育て支援の取り組みを一層充実するため、連絡会議を神戸市内で開催。各県民局のまちの子育てひろばコーディネーターなど約40名が参加し、児童家庭支援センターによる出前相談や動物ふれあい体験の実施等の事例紹介や地域で抱える課題等について、活発な意見交換が行われました。

(問) 県少子対策課 078-362-4185

## ● 毎月19日はいく(育)ちゃんの日

まちの子育てひろばのシンボルとして“育てる”という字をもとにした「いく(育)ちゃん」が誕生しました。県立こどもの館では、毎月19日を「いくちゃんの日」とし、伝承あそび、音楽あそび、人形劇など、楽しいひろばを開催しています。親子で楽しいひとときを過ごしてみませんか。

(問) 県立こどもの館 079-267-1153



## ■県立こどもの館が開館20周年記念「こどもフェスティバル」を開催（5月5日）

県立こどもの館は、開館20周年を記念し、子どもたちの健やかな成長を願い、多世代が交流を深める場として、「こどもフェスティバル」を開催。記念式典では、「わたしの夢」コンクール(絵画・詩)の知事表彰、県立こどもの館の運営功労者の館長感謝状贈呈や「こどもの心を育てる～ ケータイよさらば～」と題した建築家安藤忠雄氏による講演が行われました。また、包む文化、結ぶ文化など暮らしの中の伝統文化を伝える展示室「和のひろば～伝えたいくらしの文化」がオープンし、ワークショップ「ふろしきで包んでみよう!」を開催。このほか、「多世代ふれあい交流サロンスペシャル」、中国獅子舞のアトラクションなど多彩なプログラムが展開され、8,000人を超える親子連れで終日賑わいました。



中国獅子舞

(問) 県立こどもの館 079-267-1153

## ■児童福祉週間記念事業「おーい集まれ!こいのぼりのつどい」を開催（5月9日）

県と児童養護連絡協議会・乳児院連盟は、県内の児童養護施設や乳児院の子どもたち約1,200人が県立明石公園に集い、夢を育む子どもたちを励ます、こいのぼりのつどいを開催。「夢や目標に向けて元気に歩んでください」と県からのメッセージが読み上げられ、子どもたちを激励しました。当日は、仮装大会、大縄跳び競争やソーラン踊などの催しや模擬店などが行われ、子どもたちは晴天の1日を楽しみました。

(問) 県児童課 078-362-3198



## ■「まちの寺子屋」開設者を募集

県では、地域の大人たちの経験や知恵を子育て支援に活かし、こま回しやお手玉などの昔遊び、書道・茶道などの様々な体験活動を通じて、子どもたちに社会のルールや礼儀作法などを伝える「まちの寺子屋」(31か所/5月末現在)の開設者を募集中。開設者には、右記の看板(幅約60cm)の貸与、子育て支援情報の提供や交流会の開催など様々な支援をします。



(問) 県少子対策課 078-362-4185

## ■兵庫県配偶者等からの暴力対策基本計画を改定（5月1日）

県では、平成18年4月に「兵庫県配偶者等からの暴力対策基本計画」を策定してDV対策を推進してきたところですが、関係法律の改正・施行などを踏まえ、現行計画を改定。新計画の計画期間は25年度までの5か年で、「DV防止のための啓発・教育の推進」「市町基本計画の策定及び市町配偶者暴力相談支援センターの設置の取り組みを支援」「県と市町など関係機関の連携による切れ目のない被害者支援対策の推進」を基本方針として計画を推進します。

(問) 県児童課 078-362-3198

## ■すこやかな子育て・親育ち応援事業「すこやか親子セミナー」を開催（5月13日）

県立総合衛生学院は、今年度も引き続き、地元の大丸新長田店・ジョイプラザ名店会等との共催で、すこやかな子育て・親育ちを応援するセミナーを開催しています。第1回目の今回は、親子21名の参加があり、まちの子育てひろば体験活動指導員とともに、「親子で楽しく遊ぼう」をテーマに、わらべうた遊び、人形劇、手作りおもちゃの紹介などのほか、助産師や保育士による子育て相談を実施。参加したお母さんからは、「たくさんの遊びのプログラムがあって楽しかった」との声が寄せられ、参加者同士では活発に情報交換がされていました。



(問) ジョイプラザ名店会 078-612-8400 又は県立総合衛生学院 078-733-6611

## ■ひょうご出会いサポートセンターが会員申し込み方法を拡充（5月20日～）

ひょうご出会いサポートセンター（公益財団法人兵庫県青少年本部内）では、個人会員の登録申請を県内の各地域でできるよう、県民局（神戸県民局を除く）内の地方青少年本部に「受付取次所」を設置。また、仕事等で来所が困難な方のために郵便での受付も開始します。来所、郵送とも、申込に必要な書類などについては、ひょうご出会いサポートセンターまたは各地方青少年本部にご確認願います。

- ①ひょうご出会いサポートセンター 〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3 電話078-891-7415
- ②阪神南青少年本部(阪神南県民局県民協働課内) 〒660-8588 尼崎市東難波町5-21-8 電話06-6481-4629
- ③阪神北青少年本部(阪神北県民局室県民協働課内) 〒665-8567 宝塚市旭町2-4-15 電話0797-83-3138
- ④東播磨青少年本部(東播磨県民局県民協働課内) 〒675-8566 加古川市加古川町寺家町天神木97-1 電話079-421-9105
- ⑤北播磨青少年本部(北播磨県民局県民協働課内) 〒673-1431 加東市社字西柿1075-2 電話0795-42-9352
- ⑥中播磨青少年本部(中播磨県民局県民協働課内) 〒670-0947 姫路市北条1-98 電話079-281-9198
- ⑦西播磨青少年本部(西播磨県民局県民協働課内) 〒678-1205 赤穂郡上郡町光都2-25 電話 0791-58-2131
- ⑧但馬青少年本部(但馬県民局県民協働課内) 〒668-0025 豊岡市幸町7-11 電話 0796-26-3648
- ⑨丹波青少年本部(丹波の森公苑活動支援部内) 〒669-3309 丹波市柏原町柏原5600 電話 0795-72-5168
- ⑩淡路青少年本部(淡路県民局県民協働課内) 〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5 電話 0799-26-2048

(問) ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415

## ■県立山の学校への図書寄贈のお願い（～平成21年7月末）

県立山の学校では、生徒の学習活動向けの図書の充実を図るため、広く県民の皆様方に書籍の寄贈をお願いしています。ご家庭などに眠っている下記の書籍がございましたら、寄贈いただきますようお願いいたします。

- (1) 15～20歳の青少年に適している、純文学小説、推理小説、偉人伝記等
- (2) 授業に関する農林水産、匠の技・ものづくりに関するもの

(問) 県立山の学校 0790-62-8088

## イベントの案内

### ■「ひょうご仕事と生活センター」開設記念講演会の参加者を募集（6月3日）

県では、企業に人材確保や生産性の向上をもたらす、勤労者に働く意欲や働きがいをもたらす「仕事と生活のバランス」推進の全県的拠点として、「ひょうご仕事と生活センター」を6月3日に開設。同日行われる記念講演会の参加者を募集します。◆日時：6月3日(水)14:30～15:45 ◆場所：県中央労働センター ◆内容：演題「働き方を変えて持続可能な社会を：ワーク・ライフ・バランス社会を目指して」、講師：東京大学社会科学研究所教授 佐藤博樹氏 ◆定員：100名(申込要、先着順) ◆参加料：無料

施設概要 主な業務：各種情報発信、ワンストップ相談、相談員派遣、研修企画・実施など  
所在地：神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター2F  
開館日・時間：月～金曜日(祝日・年末年始除く) 9:00～17:00

(問)財団法人兵庫県勤労福祉協会 078-341-1510

### ■「ひょうご・おやじサミット」の参加者を募集（6月14日）

「我が子の親」としてだけでなく、「地域の親」としての力を高め、父親の子育てや地域活動等への参画について考える「ひょうご・おやじサミット」を開催します。◆内容：講演(「父親ってなに？最近の父親ブームの傾向と対策」/小崎恭弘・神戸常磐大短期大学部准教授)、おやじたちの井戸端会議 ◆日時：6月14日 13:00～15:30 ◆場所：県公館大会議室 ◆定員：300名(先着順) ◆参加料：無料

(問)県男女家庭室 078-362-3169

### ■県立こどもの館「演劇ボランティア養成講座」の参加者を募集（6月27日～8月23日）

「こどもの館劇団」等の指導にあたる演劇ボランティア(指導者)養成講座を開催します。◆日時：6月27日～8月23日(講座編6月27日～7月5日、実践編8月1日～8月23日) ◆場所：県立こどもの館・研修室 ◆定員：25名(6月10日締切) ◆参加料：無料

(問)県立こどもの館 079-267-1153

## 団体の活動紹介

### ■ゆうきっこクラブ（西宮市） ～ハンディのある子どものための手作りサークル～

ゆうきっこクラブ(野草美千代代表)は、制度の狭間で、支援を受ける機会が限られている発達障害の子どもたちに対し、保護者ができることはないかと5年前に2組の親子からスタート。現在では、発達障害だけでなく、様々な障害を抱える会員も増え、100組を超えるまでになりました。毎月開催の「親の会」は、悩みを打ち明け合い、情報交換できる貴重な場になっています。また、保護者向けの勉強会や音楽療法などのサークル活動、子どもたちが様々な体験をするプレーパークでの活動とともに、今年度からは放課後支援活動も行っています。

障害の有無に関係なく、悩みを抱えているすべての親子にとって元気を与えられる場になればと願っています。

(問)ゆうきっこクラブ FAX 0798-42-1640



### ■国際ソロプチミスト西播磨 ～子育て応援協定締結記念バザー～

国際ソロプチミスト西播磨(江見美知代会長)は、毎年、恒例のチャリティバザーを赤穂市内で5月26日に開催し、兵庫県との子育て応援協定締結を記念(締結は2月17日)して、チャリティバザーの収益金を地域の4市1町(相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、上郡町)へ子育て支援金として寄贈。会場は多くの人で賑わい、江美会長は、「今後も地域において一層子育て支援活動に取り組んでいきたい」と挨拶しました。

(問)県少子対策課 078-362-4184



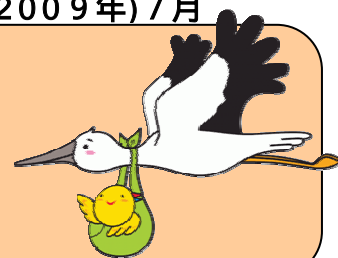
## ※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部子ども局少子対策課)：E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご

## 子ども未来通信7月号

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw08\\_000000002.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw08_000000002.html)

## 「ひょうご仕事と生活センター」を開設(6月3日)

県は、企業に人材確保や生産性の向上を、勤労者に働く意欲・働きがいをもたらす「仕事と生活のバランス」の全県的推進拠点として、「ひょうご仕事と生活センター」を県中央労働センター(神戸市)に開設。各種情報発信、相談員派遣や研修の企画・実施などを行います。同日行われた記念講演では、佐藤博樹・東京大学社会科学研究所教授が、「旧来型の男性の働き方を前提とせず、男女がともに家庭生活や地域生活に参画できるよう、仕事管理・時間管理の方法や働き方を見直していく必要がある」と語りました。



(問)ひょうご仕事と生活センター 078-381-5277

## 「子育て応援協定」を締結

## 兵庫県商工会連合会(5月28日)

地域の商工会活動を通じて、地域経済の振興に取り組んでいる県商工会連合会と県は、神戸市内で子育て応援協定を締結。知事は「安心して子どもを産み、育てられる社会の実現に向け協力をお願いしたい」と挨拶。木南岩男会長は、「青年部等による地域での子育て支援活動や空き店舗を活用した支援事業、ひょうご出会い支援事業への参加など、県と連携して取り組んでいきたい」と挨拶しました。



## 国際ソロプチミスト姫路西(6月18日)

西播磨地域を活動エリアとして、児童養護施設等への支援、チャリティによる寄付や行事を通じての交流など、子育て支援活動に取り組んでいる国際ソロプチミスト姫路西と県は、姫路市内で子育て応援協定を締結。清原・県理事兼少子対策本部事務局長は、「民間と行政が力をあわせ、次世代支援に向けて取り組んでいきたい」と挨拶。寒川紀子会長からは、「バザーの収益金を子育て支援のために活用するなど、この協定締結を機に今後もより一層子育て支援活動に協力し、応援していきたい」との決意表明がありました。



(問)県少子対策課 078-362-4184

## 兵庫県選挙管理委員会からのお知らせ

7月5日(日)は、兵庫県知事選挙、兵庫県議会議員補欠選挙(西宮市・宝塚市)の投票日です。私たちの代表者を決める大切な選挙です。皆さん、そろって投票しましょう。投票日当日に仕事、買い物、レジャーなどのご予定がある方は、期日前投票で投票を済ませましょう。

## 新子ども未来プラン策定に向けたリレートークを開始～第1回目を朝来市で開催・以後順次開催中～

県は、「新ひょうご子ども未来プラン」を多くの県民の方々と一緒につくるため意見をいただきリレートークを開始。第1回目は6月11日に朝来市で開催。20名を超える子育て支援に携わる方々が集まり、多次市長の開会挨拶に続き、清原・県理事兼少子対策本部事務局長が少子化の現状や課題を説明したあと、意見交換を実施。「認定こども園がどんどん地域に浸透している」、「子育て支援に加え、親教育、家庭教育も重要」など、様々な視点から数多くの意見が交わされました。今後も11月頃まで県内各地で引き続き40回以上の開催を予定しています。



〔意見募集用紙〕<http://web.pref.hyogo.lg.jp/contents/000127381.pdf>

(問)県少子対策課 078-362-4183

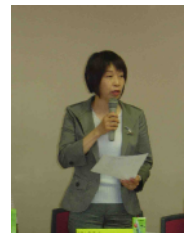
## 「ひょうご出会い支援事業」を推進

### 「親御様限定 ご良縁 特別交流会」を開催（6月27日）

ひょうご出会いサポートセンターは、初の試みとして、会員の親御様の交流会を神戸市内で開催。42名の参加を得て、婚活アドバイザーの講師が、現在の結婚事情や婚活に欠かせないコミュニケーション力などを説明した後、親御様同士がお子様のプロフィール交換を行いました。どの親御様も非常に熱心に情報交換されており、お子様の結婚について真剣に考えていることがひしひしと伝わってきました。当センターは、今後も多彩な内容の交流会を実施していきます。(問)ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415

### こうのとりの大使・協賛団体交流会を開催（6月22日）

ひょうご出会いサポートセンターは、県内各地で県出会い支援事業の普及に支援をいただいている「こうのとりの大使」や協賛団体から42名の参加を得て、意見・情報交換を行うための交流会を神戸市内で開催。原田きぬ子講師（ハッピーコミュニケーション・ポプラLLP）が婚活の現状とコミュニケーション力の重要性について説明し、各協賛団体は、自らが企画・実施した特色ある事業の事例発表を行いました。意見交換では、「結婚を進めるには、本人の意思を尊重した親や周りの人などのサポートが大切」などの意見が交わされました。



(問)ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415

## 篠山市が結婚相談室「輪～りんぐ～」を開設 ～すてきな出会いをサポート～（6月2日）

篠山市は、結婚を希望しているが、「出会いの機会がない」「希望する相手にめぐり会えない」という独身男女に対し、結婚相談員が相談に応じ、お見合い相手の紹介や交流会等を通じて、多くの男女が良縁に恵まれるよう積極的なサポートを行う結婚相談室を開設。相談は登録制で、篠山市内に在住若しくは在住する意思を有する20歳以上の独身男女の方が対象です。相談、登録や紹介にかかる費用は無料です。【相談日】毎週火・木・土曜日（祝祭日・年末年始を除く）



10:00～16:00 【場所】篠山市民センター1階

(問)篠山市結婚相談室 079-552-3455

## 「ひょうご出会い支援ネットワーク」による市町・県等の連携強化

県青少年本部では、篠山市結婚相談室のほか、三木市「みきで愛(出会い)サポートセンター」、南あわじ市縁結び事業「ハッピーマジックの会」など、県内市町や社会福祉協議会等が実施している事業と相互のPR、イベントの合同開催等の連携を図りながら、ひょうご出会い支援事業（ひょうご出会いサポート・こうのとりの会）を実施し、独身のみなさんの出会い支援を強化していきます。(問)ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415

### ひょうごおやしサミットを開催（6月14日）

県は、「地域の親」としての力を高め、父親の子育てや地域活動等への参画について考える「ひょうごおやしサミット」を県公館で開催。186名の参加があり、小崎恭弘・神戸常盤大学短期大学部准教授による講演「父親ってなに？最近の父親ブームの傾向と対策」のほか、おやじたちの井戸端会議では、「父親・おやじの会」などの活動を継続する秘訣、父親が子育てや地域活動を始めるきっかけなど、実演も交えた具体事例が発表され、ともに語り合い、つながろうと、一般来場者へ「ひょうごおやしネットワーク」への参加を呼びかけました。（問）県男女家庭室 078-362-3169



### 多子世帯の保育料を軽減

3人以上の子どもを育てる世帯に対し、第3子以降の保育料を助成し、子どもを生きやすい環境づくりを推進します。

助成対象：次のいずれも満たす世帯。 同一世帯に満18歳未満の子どもが3人以上、第3子以降の子どもが認可保育所、幼稚園、認定こども園及び事業所内保育施設に在園、所定の所得要件を満たすこと

所得要件 保育所に在園する場合：世帯の前年所得税額の合計が40,000円未満の世帯  
幼稚園・認定こども園・事業所内保育施設に在園する場合：世帯の当該年度市町民税所得割額の合計が55,600円未満の世帯

補助額：保育料(月額)から6,000円を控除した額に対して、 3歳未満児の場合：4,500円を上限、 3歳以上児の場合：3,000円を上限に補助

年齢については、児童が各施設に入所した月の初日の年齢

申請方法：各市町又は各施設を通して、児童の保護者に事業のお知らせを配布しますので、そのお知らせに従って手続を行ってください。（問）県児童課 078-362-3215

### 第3回女性医師の会フォーラムを開催（6月13日）

県医師会・女性医師の会と県は、医療、医学研究の従事者又は従事経験者で、職場復帰を希望する女性医師の支援に取り組んでおり、「女性医師の明るい未来を語ろう」というテーマで、女性医師の会フォーラムを神戸市内で開催。基調講演では、作家の玉岡かおるさんが「さきがけの女たち - 過去から未来へつなぐ道 - 」と題して講演。シンポジウムでは、「妊娠、出産など女性だからできる経験を診療の際に活かすことができる」、「仕事と生活のバランスに配慮する病院しか生き残れない時代になってきた」などの意見が交わされました。（問）県男女共同参画センター 078-360-8550



### 協同組合兵庫県写真師会が「杉の子アルバム」を贈呈（6月1日）

協同組合兵庫県写真師会は、昭和57年からボランティア活動として、児童養護施設に入所している子どもたちの元気に成長する姿を2年にわたってアルバムに編集し、これをすくすく育つ杉にちなんで、「杉の子アルバム」と名づけ、児童養護施設の子どもたちに贈呈してきました。6月1日には、久保・県健康福祉部長の立ち会いのもと、県写真師会の藤森理事長から光都学園(たつの市)の大野副園長へアルバムが贈呈されました。また、長年にわたるアルバム寄贈に対して、久保部長から知事感謝状が贈呈されました。



（問）県児童課 078-362-3198

## 県住宅供給公社が新婚・子育て家庭の入居者を募集(7月1日～)

県住宅供給公社が阪神間を中心に管理している特定優良賃貸住宅(対象団地のみ)において、新婚の方を応援する「新婚ネオライフプラン」、子育て中の家庭を応援する「子育て安心プラン」、老親と同居の家庭を応援する「シルバー同居交流プラン」、マイカーを持ち駐車場を必要とする家庭を応援する「マイカー応援プラン」を設け、各プラン対象資格を有する方へ毎月の入居者負担額に対し、～は2万円、～は1万円を補助する「ハッピー応援プラン」を実施します。申込期間：平成21年7月1日～(締切日については、団地により異なりますので、お問い合わせください。)

(問)阪神間の住宅：公社住宅募集センター0798-63-4810 / 明石市内の住宅：播磨東事務所079-423-0117 / 上郡町内の住宅：播磨西事務所079-289-0076

## イベントの案内

### 大学コンソーシアムひょうご神戸～子育てに関するシンポジウム参加者を募集(～7月7日)

県内の45大学等で構成する「大学コンソーシアムひょうご神戸地域交流委員会」は、「発達障害」について考えるシンポジウムの参加者を募集します。日時：7月7日(火)18:00～20:30 場所：三宮センタープラザ三宮9F(神戸親和女子大学センタープラザ教室) パネラー：太田篤志・姫路獨協大学教授、高田哲・神戸大学大学院教授/コーディネーター：大島剛・神戸親和女子大学教授 定員：200名(先着順) 参加費：無料

(問)大学コンソーシアムひょうご神戸地域交流委員会

E-mail: conso-hyogo-c@kobe-shinwa.ac.jp FAX: 078-591-2465

## 団体の活動紹介

### 社団法人こども環境フォーラム(神戸市)ほか～子どもたちが環境保護の取組みを発表～

昨年5月、世界21か国・地域の子どもの参加を受けて開催された「こども環境サミット in KOBE」に参加した子どもたちが、その後の各自の取組みなどを発表する、「第1回兵庫県こども環境フォーラム」を社団法人こども環境フォーラムはじめ4団体の主催(県共催)により、県公館で開催。10人の子どもたちは、冷蔵庫の節電やコンポストなど、エコに関する家庭での取組みや、地球温暖化等に対する国際的な活動の広がりなどについて、クイズ形式にするなど工夫を凝らして発表し、環境を守るため、今何をすべきか、何ができるのかを訴えました。



(問)県環境政策課 078-362-3156

### おちびのおてて(加古川市)～ママがリフレッシュできるサークル～

おちびのおてて(翁長美紀子代表)は、昨年、ママと子どもが楽しめるサークルを目指して立ち上げ、ベビーからキッズ、プレママさんまで幅広く参加していただいています。子どもがいるからこそ楽しみ、子どもがいてもリフレッシュできることで、これからの育児の励みになったり、ストレスをためないことで虐待防止につながったり、楽しい育児ができると考えています。今後もママがイキイキと楽しめるよう、Baby&シニアサイン、ベビーアロママッサージ、歯磨き講座や美容講習などの活動を企画していきます。



(問)おちびのおてて 079-439-5464

## 編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課)：E-mail: shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp



ひょうご

## 子ども未来通信8月号

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw08\\_00000002.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw08_00000002.html)

## ■近畿ブロック保育研究集会を開催（7月16日）

（社）兵庫県保育協会と近畿ブロック保育協議会（近畿2府4県3政令市の保育関係団体で構成）は、保育従事者の資質向上をめざす近畿ブロック保育研究集会を神戸市内で開催。近畿一円から900名を超える保育関係者が集い、「すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして」をテーマに、記念講演や分科会形式による実践発表が行われました。開会式で、井戸知事は「この度の新型インフルエンザが兵庫県から発生し、ご心配をかけたが、県内外から大勢お越しいただき感謝している。保育所はどうしても預かる必要がある場合のセーフティネットの確保が課題。秋に想定される第2波に向けての対応を検討中」と述べるとともに、「子育ての専門機関としての保育関係者の皆さんと連携し、子育て支援を推進していきたい」と協力を呼びかけました。



(問) (社)兵庫県保育協会 078-242-4623

## ■新ひょうご子ども未来プラン策定に向けたリレートークを開催

県では、新ひょうご子ども未来プランの策定に向け、県民の方々からご意見をいただく「リレートーク」を県内各地で開催しています。

## ◆夙川学院短期大学（西宮市）（7月7日）

夙川学院短期大学の保育専攻の学生約20名が参加し、清原・県理事兼少子対策本部事務局長が少子化の現状や行政の取り組みなどを説明したあと、活発に意見交換。学生からは、「職場で育児休業がしっかり取得できることが必要」「地域で母親が気軽に安心して足を運ぶことができる場があることが大切」などの発言もあり、県・学生にとって、有意義な場となりました。



## ◆「いぬいふくし村」と「中立舎」（篠山市）（7月14日）

障害者支援などに取り組む「いぬいふくし村」で、障害を持つ子の親などを対象に、また、県民交流広場「中立舎」では、子育て中の母親を対象に実施。いずれも20名を超える参加者により熱心な議論が行われ、日頃から子育てについて感じていることや行政への提言など多くの意見が出されました。「いぬいふくし村」では、河合雅雄・県立人と自然の博物館名誉館長による父親の子育ての大切さについてのミニ講義や手話の入ったミニコンサートが行われ、また、「中立舎」では、乳児を抱えたお母さんたちが、日頃感じていることについて、意見交換が行われました。



いぬいふくし村



中立舎

## ◆バニラシティ（豊岡市）（7月18日）

子育て中の母親、子育て支援者や市・県民局の職員など子育てに関わる人たちが集まり、「少なくなった子どもを急に大事に育てすぎ」「結婚するには、まず親を教育する必要がある」「行政の組織には、縦割りの壁がある」など多くの意見が出されました。また、谷口・但馬県民局長が自らの子育て経験を引き合いにして、意見を出すなど今後につながる場となりました。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

## ■「子育て応援協定」を締結

### ◆兵庫県いけばな協会（6月30日）

36流派、約4千人の会員が所属する兵庫県いけばな協会（松井則康会長）と県が神戸市内で子育て応援協定を締結。清原・県理事兼少子対策本部事務局長は、「いけばな教室などを通じ、いけばなの心、精神性を次の世代である子どもに引き継いでいきたい。これからも日本の伝統文化の伝承を通じた子育て支援に取り組んでいきたいと思います」と挨拶しました。



### ◆国際ソロプチミスト但馬（7月17日）

但馬地域を活動エリアとして、学校等公共施設への寄贈、子どもの文化的育成の支援や交流事業など、子育て支援に取り組んでいる国際ソロプチミスト但馬と県は、豊岡市内で子育て応援協定を締結。近本会長からは、「チャリティーバザーの収益金などを、地域に即した子育て支援のために活用していきたい」と、協定締結を機に、さらなる子育て応援に取り組むことを表明されました。



(問) 県少子対策課078-362-4184

## ■「あそびの伝承師」養成講座スタート（7月20日～10月18日）

県立こどもの館は、「ひょうご あそびの伝承プログラム」の普及を通して家庭と地域の子育て力の向上を図るため、県内3地域において、「ひょうご あそびの伝承師」養成講座を実施しています。7月20日には、東・北播磨・丹波・淡路地域を対象とした「なかひょうご」地域で第1回目が実施され、子育て支援施設職員や民生委員・児童委員、子育てサークル関係者等約80名が、熱心に講義や実技を受講しました。



今後は、「まちなか(阪神・神戸地域)」、「にしひょうご(中・西播磨・但馬地域)」でも実施していきます。養成講座修了者には、「ひょうご あそびの伝承師」認定証が交付される予定で、地域でのあそびを使った活躍が期待されています。(問) 県立こどもの館 079-267-1153

## ■愛育班長・地域組織育成者合同研修会を開催（7月17日）

愛育班(県内17市町58班)は、「声かけ」を通して地域の健康づくりを目標に活動を行っている自主団体です。兵庫県愛育連合会と県は、約90名の出席のもと、「愛育班長・地域組織育成者合同研修会」を神戸市内で開催。清原・県理事兼少子対策本部事務局長が、「愛育班活動を継続するための秘訣と育成者の役割」をテーマに講演し、受講者は、愛育班活動の重要性や具体的な目標を持ち楽しんで活動を続けていくことの必要性を学びました。また、グループワークでは、今後より良い活動を行っていくための方法について、活発な意見交換がなされました。参加者からは「愛育班活動の必要性を再確認することができた。今後も楽しみながら活動を続けていきたい」などの感想が寄せられました。



(問) 県健康増進課 078-362-3250

## ■県特定不妊治療費助成事業

県では、体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)を受けられたご夫婦に対し、経済的な負担の軽減を図るため、治療費の助成を行っています。助成額は、今年度から「治療1回あたり15万円を上限(1年度2回まで)」に増額しており、所得制限は「夫婦合算730万円未満」です。

助成対象者、申請の受付期間など詳細は、県HPをご覧ください。

(問) 県健康増進課 078-362-3250

## ■NPOと行政の子育て支援会議が但馬で交流会を開催（7月16日）

「NPOと行政の子育て支援会議」は、但馬地域で初めての交流会を豊岡市内で開催。当日は、子育て支援ボランティア、まちの子育てひろば開設者、NPOや県市町職員等51名が参加。神戸、阪神南、東播磨地域で活動する5名の幹事による活動報告、小児科医でもある片山幹事（片山キッズクリニック院長）のミニ講演会「子どもたちの夏の健康管理」に続いて、5班に別れての意見・情報交換を実施。参加者からは「支援者と利用者が積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことが大切」「利用者であるお母さん、お父さんたちにもボランティアに参加してもらおう工夫をしたい」など、多くの意見が出されました。（問）県少子対策課 078-362-4184



## ■兵庫県民生委員児童委員連合会 主任児童委員部会全県研修会を開催（7月6・7日）

最近の子どもや家庭を取り巻くさまざまな状況や地域の課題への理解を深めるため、兵庫県民生委員児童委員連合会が、主任児童委員の全県研修会を神戸市内で開催。初日は、才村・関西学院大学人間福祉学部教授が「児童虐待防止に向けた主任児童委員の役割と関係機関との連携」をテーマに講演した後、こども家庭センター職員を交え、活発なグループ討議を行いました。二日目には、清原・県理事兼少子対策本部事務局長が「児童委員・主任児童委員への期待」をテーマに講演し、参加者からは「改めて期待の大きさを確認しました」との声が聞かれました。（問）県児童課 078-362-3197



## ■県立こどもの館が「第1回父親のための子育て応援講座」を開催（7月4・5日）

県立こどもの館は、父親と子どもが、様々な活動を通して親子のきずなをいっそう深めることなどを目的に一泊つきの「第1回父親のための子育て応援講座」を開催。34組74名の親子が、親子ふれあい体操や基地作りなどを楽しみました。また、夜には父親の「子育てを語ろう会」を開き、子どもとの接し方について活発な意見交換が行われました。参加者からは、「長時間、子どもと過ごして、一緒にいることを喜んでくれたので、これから一緒にいる時間を少しでも増やしたい」「父親同士の話ができて、とても充実した日を過ごせた」などの意見が寄せられました。（問）県立こどもの館 079-267-1153



### イベント等の案内

## ■「こどもの館手づくり絵本コンクール」の作品を募集（～11月29日）

手づくり絵本の創作を通して児童等の創造性や情操を高めることを目的に、手づくり絵本のコンクールを実施します。◆募集作品：手づくりの絵本（テーマ・大きさ・材質は自由）◆募集部門：①18歳未満の部②18歳以上の部◆応募資格：県内在住または在勤・在学者の個人又はグループ◆締切：11月29日（日）◆賞：各部門、知事賞最優秀賞1点、毎日新聞社賞1点ほか◆表彰日：平成22年2月（問）県立こどもの館 079-267-1153

## ■「こどもの館手づくりおもちゃコンクール」の作品を募集（8月12日～9月19日）

将来親となる中高生が、乳幼児の成長・発達にあったおもちゃを作ることで、子どもの遊びを理解し、素朴な手づくりおもちゃの良さに気づく機会と場を提供することを目的に、手づくりおもちゃコンクールを実施します。応募作品は、こどもの館に来館した親子に遊んでもらい、その投票により入賞候補作品を選出します。◆募集作品：乳幼児が使う手づくりのおもちゃ（手工具を活かして作る木工作、ぬいぐるみ、パズル等、テーマ・材質は自由、大きさ縦+横+高=150cm以下、著作権のあるキャラクターは使用不可）◆応募資格：県内在住又は在学の中高生の個人又はグループ◆募集期間：8月12日（水）～9月19日（土）◆賞：こどもの館賞1点、優秀賞1点、奨励賞数点◆表彰日：11月1日（日）

（問）県立こどもの館 079-267-1153

## ■「忙しさに追われる女性が自分を見つめ直すための講座」の受講者を募集（～9月17日）

育児や家事、介護、仕事に追われる生活の中で忙しさに紛れて無理をしてストレスを感じ、自分の気持ちを見失いがちな女性を対象に、仲間とともに少し立ち止まり、女性のライフサイクルや手一杯の毎日を楽しむ社会資源を知り、自分の気持ちや力を見つめ直すための講座の受講者を募集します。◆日時：10月9日(金)・23日(金)、11月6日(金)各日とも13:00～15:00 ◆場所：県立男女共同参画センター セミナー室 ◆対象：県内在住又は在学在勤で全回参加可能な女性 ◆定員：20名(抽選) ◆参加費：無料

(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550

## 団体の活動紹介

## ■「まちの寺子屋師範塾」を開催（8月21日～）

県では、大学コンソーシアムひょうご神戸との協働により、多くの県民の皆様へ、次世代育成支援について体系的に学び、地域での活動に参加いただくため、県内18大学において、「まちの寺子屋師範塾」を8月から22年2月にかけて開催。講座修了生には、知事名による「まちの寺子屋師範塾修了証」をお渡しします。講座内容・日程、申込方法などの詳細は、県HPをご覧ください。

県HP [http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw09\\_000000171.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw09_000000171.html)

大学名	講座テーマ	開催日程	大学名	講座テーマ	開催日程
神戸大学	地域における子育て支援を学ぶ	10/24～10/25	兵庫教育大学	実践で学ぶ子育て支援	9/30～12/2
兵庫県立大学	自然を楽しみながら学ぶ方法	9/3～9/24	神戸女学院大学	子育てと子どものためのサイエンス	10/1～10/22
兵庫県立大学	みんなの食生活を考えよう	10/10～11/21	甲南大学	「子育て・家族支援者」養成講座	10/3～11/14
兵庫県立大学	ICT時代に生きる子どもたち	10/14～11/11	神戸山手大学	高齢社会におけるシニアの社会参加	10/16～12/18
兵庫県立大学	自分を生かした子どもとのかかわり方	10/31～11/21	神戸山手大学	六路盤で囲碁入門	11/25～1/13
神戸親和女子大学	子育てをどう支援するか	9/12～10/24	夙川学院短期大学	「子ども達の今」を新たな視点から考えよう	10/10～11/28
関西福祉大学	子どもの心の問題への関わり方	8/21～10/25	神戸松蔭女子学院大学	子育てを楽しく支援するために	10/17～12/5
園田学園女子大学	そのだ流子育て講座	9/11～10/9	神戸学院大学	子どもの理解と子育て支援	10/19～12/7
姫路獨協大学	発達障害の理解と支援	9/18～10/9	近大姫路大学	子どもの未来と子育て支援	11/14～12/5
芦屋大学	世代間交流と子育て支援	9/26～11/14	神戸常磐大学	子育てと健康	11/21
神戸女子大学	食と子育てを学ぶ	9/26～10/24	兵庫大学	東播磨のウェルネスのために	1月～2月

## ■大学コンソーシアムひょうご神戸～「子育て支援に関するシンポジウム」～を開催(7月7日)

県内の45大学等で構成する「大学コンソーシアムひょうご神戸」は、昨年度に引き続き、発達障害についての基本的な考え方や最先端の動向を学び、正しく理解するシンポジウムを神戸市内で開催。保育士や幼児教育関係者など約120名が参加し、コーディネーターに大島剛・神戸親和女子大学教授、シンポジストに太田篤志・姫路獨協大学教授、高田哲・神戸大学大学院教授を迎え、発達障害に対する認識、指導方法、学校や自治体での取り組み、子どもとの関わり方、成功体験の大切さなど、具体的な事例について意見が交わされました。



(問) 大学コンソーシアムひょうご神戸地域交流委員会

E-mail: conso-hyogo-c@kobe-shinwa.ac.jp FAX: 078-591-2465

## ※編集部からのお知らせ

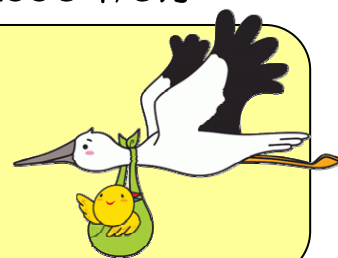
「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部子ども局少子対策課) : E-mail: shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご

# 子ども未来通信 9月号

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw08\\_000000002.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw08_000000002.html)



## 「まちの寺子屋師範塾」受講生を募集

県では、県内18大学(22講座)との連携のもと、様々な子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催しています。

今回は、神戸親和女子大学ほか5大学の講座を紹介。修了生には、「まちの寺子屋師範塾修了証」をお渡しします。若干の空席がありますので、ぜひご参加ください。

詳しくは、県HPトップ画面より“まちの寺子屋師範塾”で検索。

※受講料：無料(講座によっては教材費の実費負担あり)  
 ※応募締切は各講座初回の前日(ただし先着順)

### 神戸親和女子大学

#### 子育てをどう支援するか

子育てをより身近なものとして考えるための楽しく実践的な講座です。

9/12・26・10/3・10・24(いずれも土曜日)

### 神戸女子大学

#### 食と子育てを学ぶ

パン作りの実習を通して、子どもたちの食と健康を考えます。

9/26・10/3・10・17・24(いずれも土曜日)

### 園田学園女子大学

#### そのだ流子育て講座

子どもの病気や食事・発育など幅広く子育てに必要な知識を学びます。

9/11・18・25・10/2・9(いずれも金曜日)

### 神戸女学院大学

#### 子育てと子どものためのサイエンス

子どもの病気や健康・食育などを科学の視点から学習します。

10/1・8・15・22(いずれも木曜日)

### 姫路獨協大学

#### 発達障害の理解と支援

実践をまじえながら、ハンディを持つ子どもたちの支援について考えます。

9/18・25・10/9(いずれも金曜日)

### 夙川学院短期大学

#### 「子ども達の今」を新たな視点から考えよう

子どもたちを取りまく最近の様々な状況を新たな視点から考えます。

10/10・17・11/14・21・28(いずれも土曜日)

※なお、下記の大学については、既に募集を終了しております。

大学	講座	大学	講座
兵庫県立大学(自然・環境科学研究所)	自然を楽しみながら学ぶ方法	芦屋大学	世代間交流と子育て支援
兵庫県立大学(環境人間科学部)	みんなの食生活を考えよう	神戸松蔭女子学院大学	子育てを楽しく支援するために
関西福祉大学	子どもの心の問題への関わり方	神戸学院大学	子どもの理解と子育て支援

(問) 県少子対策課 078-362-4185

## 兵庫県医師会・兵庫県「子育て支援フォーラム」の参加者を募集

県は、兵庫県医師会と共催する「子どもの病気との上手なつきあい方～新型インフルエンザに備えて～」をテーマにした全県フォーラムの参加者を募集します。

- ・ 日時：9月19日(土)13:30～15:30 【参加費無料】
- ・ 場所：県看護協会会館2F ハーモニーホール
- ・ 基調講演：「子どもの感染症との上手なつきあい方～新型インフルエンザを中心に～」  
講師 西尾利一(財団法人先端医療振興財団先端医療センター病院長)
- ・ パネルディスカッション  
コーディネーター 谷澤義弘(県医師会副会長)  
パネリスト 西尾利一、小林公正(県保育協会会長)、大森綾子(県看護協会会長)、  
和田文夫(県薬剤師会副会長)

(問) 県少子対策課 078-362-4185

## ■「新ひょうご子ども未来プラン」を策定します

### ■第1回 新ひょうご子ども未来プラン策定協議会を開催(8月3日)

県は、今年度末で計画期間が終了するひょうご子ども未来プランの改定版「新ひょうご子ども未来プラン」(計画期間H22～26年度)の策定に向けた審議を行うため、学識者、各種団体、企業の代表者など31名からなる新ひょうご子ども未来プラン策定協議会を県公館で開催。委員からは「子どもを生み、次の世に生命をつなぐことの大切さという倫理観の尊重を新プランの理念に掲げるべき」など活発な意見が交わされました。



また、県では、新ひょうご子ども未来プランの策定に向け、県民の方々からご意見をいただく「リレートーク」を県内各地で開催しています。 (問) 県少子対策課 078-362-4183



ココロン小野クラブ  
(7月25日)



丹波まちづくりプロジ  
ェクト(7月30日)



和ネット丹波  
(7月30日)



リレートーク in  
養父市(8月1日)



(株)ジェットクリエイ  
ト((神戸市)(8月6日)

## ■こどもの館劇団演劇発表会(8月22・23日)



県立こどもの館で、県内の中・高校生による「こどもの館劇団」の発表会を開催、約500人の観客で賑わいました。今回のテーマは「ボクンチ2200」で、200年後の未来において、失った近隣や友だちとのつながりを取り戻すという内容。NPO法人「演劇百貨店」代表理事の柏木陽氏の指導のもと、劇団員はOG・OBやボランティアとともに、12日間練習に励んできた成果を存分に発揮。観客からは「中・高校生とは思えない、斬新な演技だった」といった感想が寄せられました。 (問) 県立こどもの館 079-267-1153

## 県民局レポート ～阪神南県民局～

### ■親子ふれあい いきいき わくわく 野球観戦（7月30日）

阪神甲子園球場で、165組の親子などの参加のもと、「親子ふれあい野球観戦」を開催。(株)阪神タイガースのご協力により、「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」の標語「話そうよ ネットじゃなくて そばの友」の電光掲示、「大人が変われば子どもも変わる」運動の場内アナウンスなど、青少年健全育成啓発活動を実施。親子がふれあった夏休みの一夜は、阪神タイガースが横浜ベイスターズに勝利し、幕を閉じました。



(問) 阪神南県民局県民協働課 06-6481-4634

### ■「小学生のためのものづくり体験ツアー」を開催（8月6日）

(財)ひょうご科学技術協会と共催で、阪神南地域の小学4～6年生の36組の親子を対象に「小学生のためのものづくり体験ツアー」を開催。尼崎市内の圧力計メーカー・東洋計器興業(株)の藤原会長から社内の説明を受けたあと、工場を見学。その後、社員の皆さんの指導のもと、圧力計の組み立て体験を楽しみました。



(問) 阪神南県民局商工労政課 06-6481-7663

## 義援金のお願い・イベント等の紹介

### ■台風災害の被災者に皆様の温かいご支援を！

8月9日からの豪雨や台風9号は、県内各地に多数の家屋が床上浸水、倒壊する等の甚大な被害をもたらしました。そこで、台風の被害にあわれた方々を支援するため、「兵庫県台風第9号義援金募集委員会」を設立し、義援金を募集しています。皆様の温かいご協力を宜しくお願いします。詳しくは県HPトップ画面のトピックスにある“兵庫県台風第9号義援金募集”のページをご覧ください。

(問) 兵庫県台風第9号災害義援金募集委員会事務局 078-341-7711(内線 5389、3162)

### ■但馬地域限定ワンセグ放送で子育て情報を提供

県は、但馬地域において、新しい情報提供システムの実証実験として、エリア限定ワンセグ放送を実施します。21年10月から22年3月まで、豊岡市民プラザ(豊岡駅前アイティ7階)から、ワンセグ携帯を通じて、子育て情報を提供。詳しくは、県HPトップ画面より“但馬 ワンセグ”で検索。

(問) 県情報政策課 078-362-3046

### ■「平成21年度朗読コンクール」の参加者を募集（～11月3日）

日本のことばを豊かに美しく表現することを通して、作者の心を味わう朗読コンクールの参加者を募集します。 ◆日時：11月22日(日)・23日(月・祝)いずれも10時15分から ◆場所：県立こどもの館1階多目的ホール ◆応募資格：県内在住、在校、在勤者(個人又はグループ)小学1～3年生(60人)、小学4～6年生(50人)、中・高校生(40人)、グループ(30グループ)

(問) 県立こどもの館 079-267-1153

## ■「家族の日」写真コンクールと「わが家のルール」の作品を募集（～9月30日）

家族のきずなを深めるきっかけづくりを進める「家族の日」運動の普及啓発の一環として、以下のような作品を募集しています。 (問) 県男女家庭室 078-362-3169

### 「家族の日」写真コンクール

◆募集作品:フィルムカメラ・デジタルカメラで撮影した写真(カラー又は白黒、サイズは2L又はキャビネ版、応募点数制限なし) ◆応募資格:県内に在住、通勤、通学者 ◆締切:9月30日(水)必着 ◆賞:兵庫県知事賞1点、兵庫県議会議長賞1点ほか ◆表彰式:11月8日(日)

### 「わが家のルール」

◆募集作品:それぞれの家庭で話し合っただけ決めた各家庭のルール及び実践事例(エピソード)、応募点数の制限なし ◆応募資格:県内に在住、通勤、通学の者 ◆締切:9月30日(水)必着 ◆賞:兵庫県知事賞1点、兵庫県議会議長賞1点ほか ◆表彰式:11月8日(日)

## 団体の活動紹介

### ■NPO法人生涯サポート兵庫(姫路市) ～親子のあそび展覧会を開催～



NPO法人生涯サポート兵庫は、地域団体や企業など様々な団体や施設の依頼を受け、生涯学習や子育て支援、地域福祉にかかわるセミナー、講演会、キャンプなどをサポートしています。毎月1回、「親子のあそび展覧会」を開催し、クラフト、クッキングなど遊びを通して、ことばのコミュニケーションとスキンシップの大切さが体感できる、親子のふれあいタイムをプロデュースしています。7月28日には、姫路市内において、「The 親子クッキング」を開催し、15組の親子がわらびもち作りなどを楽しみました。

(問) NPO法人生涯サポート兵庫 079-230-0661

### ■NPO法人ウィズネイチャー(神戸市) ～商店街で親子イベントを開催～

NPO法人ウィズネイチャーは、親子を対象とした自然体験活動プログラムを提供しています。5月の新型インフルエンザ発生のときは、元気な子どもも1週間家に閉じ込められ、お母さん、お父さんは「家の中で子どもとどう過ごすか!」と格闘した日々。そんな親子に「お疲れ様でした」を言いたくて、8月23日に長田区の商店街で親子イベントを開催。「エプロンシアター」や「ピカピカ泥だんご作り」「フルーツアンサンブル」「1000人の笑顔写真撮影」などの体験コーナーを催し、たくさんの親子の笑顔が広がりました。



(問) NPO法人ウィズネイチャー 078-621-3127

### ※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課) : E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp